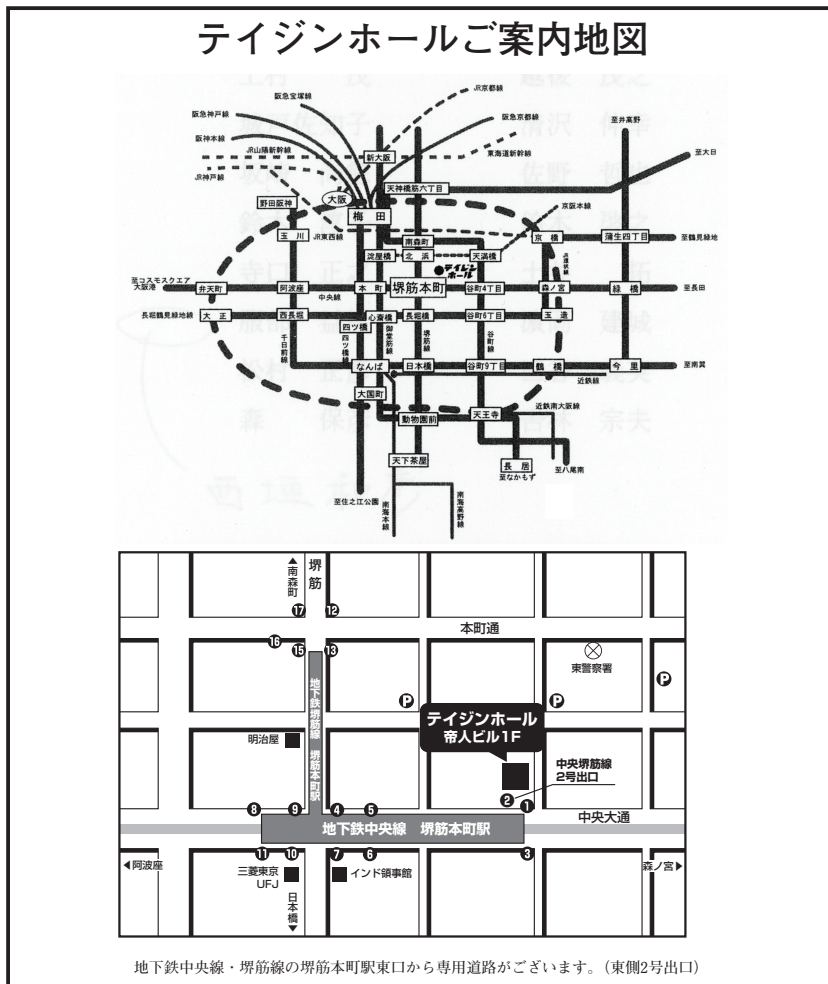


第36回 近畿川崎病研究会

日 時：2012年3月10日(土)
13:00~19:15

会 場：テイジンホール
大阪府中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第 36 回 会長

寺口 正之

運営委員長

濱岡 建城

運営委員

石田 明人	上村 茂	越後 茂之	荻野廣太郎
片山 博視	萱谷 太	城戸佐知子	清澤 伸幸
小垣 滋豊	米田 正始	坂崎 尚徳	佐野 哲也
篠原 徹	清水 達雄	鈴木 啓之	瀬戸 嗣郎
津田 悦子	寺口 正之	土井 拓	中川 雅生
西垣 和彦	服部 益治	濱岡 建城	深谷 隆
松村 正彦	三谷 義英	水戸守寿洋	村上 洋介
森 保彦	山川 勝	吉澤 弘行	吉林 宗夫

顧問

尾内善四郎	川崎 富作	北村惣一郎	鈴木 淳子
横山 達郎			

名誉会員

川島 康生	田村 時緒	森 忠三
-------	-------	------

事務局

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門内

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です
- (2) 参加費は1,000円です
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は3,000円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、5単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) 発表は、PCを用いた講演でのプレゼンテーションとなります。
- (2) 講演時間は、発表6分(討論4分)です。
- (3) ご発表予定時間の1時間前までに、USBメモリーを「データ受付」
(ホール1階)にお持ちいただき、受付をお済ませください。
(動画を含む場合は、必ずご自身のパソコンをご持参ください)
- (4) USBメモリーには、ご発表データのみを入れてください。
- (5) ご発表データは、Windows、MachintoshともにPower Pointで作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用OS(データ作成時)は以下のもので作成ください。
Windows : XP、Vista、Win-7
Machintosh : OS X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
Windows : Power Point 2003、2007、2010に対応
Machintosh : Power Point 2004、2008、2011に対応
- (8) ご使用になれるデータのバックアップを必ずお取りください。
- (9) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (10) ファイル名は、プログラムNoと演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名: 14近畿.ppt
- (11) 講演終了後、舞台袖で、お預かりしたUSBメモリーやパソコンを返却いたします。
- (12) 講演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス)に掲載する予定です。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします

【執筆要領】 400字原稿用紙で12枚以内(図表は別)

【原稿〆切】 2012年5月1日(予定)

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 日村 昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

Tel 03-3407-8963

開会の挨拶

13:00～13:05

第 36 回会長 寺口 正之（中野こども病院）

セッション I（急性期 1） 13:05～13:45

座長 吉澤 弘行（奈良県立医科大学 小児科）

1. 川崎病様症状を呈し冠動脈拡大を認めたEBウイルス関連血球貪食症候群の 1 例

関西医科大学 小児科

加藤正吾 吉村 健 田邊裕子 木全貴久 内山敬達
野田幸弘 河崎裕英 金子一成

2. IVIg 不応性で血漿交換を要した川崎病の 1 例

市立豊中病院 小児科

松尾久実代 松岡太郎 徳永康行 茶山公祐 吉川真紀子
川上展弘 早島禎幸 五十嵐岳宏 木水友一 渡辺陽和
新治文子 横井健人 木村 丈

3. 第 9 病日に急性呼吸窮迫症候群を呈した川崎病 1 歳女児例

大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科

石井 良 萱谷 太 石井陽一郎 塩野展子 成田 淳
河津由紀子 濱道裕二 稲村 昇

大阪府立母子保健総合医療センター 麻酔集中治療科

橘 一也 竹内宗之 木内恵子

済生会滋賀県病院 小児科

伊藤英介

4. 発熱を認めず冠動脈拡大を来した不全型川崎病の 1 例

関西医科大学 小児科

東田有加 吉村 健 田邊裕子 木全貴久 内山敬達
野田幸弘 河崎裕英 金子一成

セッションⅡ（急性期２） 13：45～14：35

座長 清水 達雄（北摂総合病院 小児科）

5. 当科における川崎病患者の臨床的検討

大津赤十字病院 小児科

樋口真司 岩朝 徹 藪内智朗 西村尚子 松林優子
赤杉和宏 近江弘一郎 豊田直樹 今井 剛 樋口嘉久
廣田常夫

6. 咽後膿瘍疑いで耳鼻科に紹介された後に発症した重症川崎病の2例

三重大学大学院医学系研究科 小児科学

中村晴奈 大橋啓之 淀谷典子 大槻祥一郎 澤田博文
豊田秀実 三谷義英 駒田美弘

7. 川崎病急性期に腭炎・Henoch-Schonlein 紫斑病を発症した1例

広島市立広島市民病院 循環器小児科

石口由希子 鎌田政博 中川直美

8. 腹部症状で発症し小児外科に紹介となった川崎病の3例

—その特徴と診断上の注意点—

広島市立広島市民病院 循環器小児科

坂田園子 鎌田政博 中川直美 石口由希子

9. 当院における過去10年間の川崎病再発例の臨床的検討

中野こども病院

石井紘介 大町太一 北尾哲也 山内壮作 保坂泰介
笠原道雄 藤井善充 村上貴孝 寺口正之 園府寺美
木野 稔

セッションⅢ（検査・心臓） 14：35～15：25

座長 三谷 義英（三重大学大学院 小児科学）

10. 川崎病急性期と尿中 β_2 ミクログロブリン値の検討

日本赤十字社和歌山医療センター 小児科

深尾大輔 高藤 哲 明石良子 井庭憲人 額田貴之
中治倫子 井上美保子 濱畑啓悟 吉田 晃 百井 亨

11. 急性期川崎病に対する IVIG 治療前後の左室拡張能の指標の変化

大阪厚生年金病院 小児科

泉井雅史 佐野哲也 辻田麻友子 山崎 環 大河内謙太郎
遠藤健次 中野由佳子 武井安津子 東口卓史 谷口 明
田川哲三

12. PCPS 長期管理にて救命し得た川崎病巨大冠動脈瘤による急性心筋梗塞の1例

兵庫県立こども病院 循環器科

富永健太 城戸佐知子 田中敏克 佐藤有美 小川禎治
古賀千穂 亀井直哉

13. MR心筋造影における川崎病後局所性狭窄による心筋梗塞

東京逓信病院 小児科

北爪 勉

八重洲クリニック

鈴木淳子

東京逓信病院 放射線科

一坂秀一 山下素幸 寺島俊幸

14. MDCTによる川崎病石灰化病変の経時的変化の検討

近畿大学医学部 小児科学教室

丸谷 怜 篠原 徹 竹村 司

【特別講演 I】 15 : 25～16 : 05

座長 寺口 正之 (中野こども病院)

「川崎病における低ナトリウム血症の意義」

関西医科大学 小児科学 金子一成 先生

コーヒースタンド 16 : 05～16 : 25

事務局報告 16 : 25～16 : 30

近畿川崎病研究会 運営委員長 濱岡 建城

近畿川崎病研究会学術活動報告 16 : 30～16 : 50

座長 近畿川崎病研究会 運営委員長 濱岡 建城

15. 川崎病急性期カード使用状況調査のその後

近畿川崎病研究会 急性期カード普及調査委員会

篠原 徹 荻野廣太郎 濱岡健城

16. 川崎病による巨大瘤をもつ患者の予後調査

近畿川崎病研究会 長期予後調査小委員会

津田悦子 吉林宗夫 篠原 徹 濱岡健城

第 10 回 国際川崎病シンポジウム報告 16 : 50～17 : 15

座長 津田 悦子 (国立循環器病研究センター 小児科)

「基礎」 和歌山県立医科大学 小児科 鈴木 啓之

「臨床」 大阪厚生年金病院 小児科 佐野 哲也

セッションⅣ（治療） 17：15～18：05

座長 篠原 徹（近畿大学医学部 小児科学教室）

鈴木 啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

17. 急性期アスピリン非投与川崎病コホートの臨床転帰

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

田中麻希子 山川 勝 舞鶴賀奈子 長井勇樹 渡邊愛可
今井 憲 岸本健治 宇都宮 剛 田村卓也 岡藤郁夫
宇佐美郁哉 春田恒和

18. 不全型川崎病における冠動脈病変の頻度とガンマグロブリン治療に関する比較検討

倉敷中央病院 小児科

向井丈雄 荻野佳代 林 知宏 脇 研自 新垣義夫

19. IVIG 不応川崎病症例に対する CyA 療法時の血中カリウム濃度の検討

和歌山県立医科大学 小児科

垣本信幸 鈴木啓之 末永智浩 武内 崇 吉川徳茂

社会保険紀南病院 小児科

渋田昌一

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

濱田洋通 寺井 勝

千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学

尾内善広 鈴木洋一 羽田 明

20. 重症川崎病症例のサイトカイン測定による川崎病病態解明についての検討 —血漿交換施行症例 25 例の検討より—

兵庫県立塚口病院 小児集中治療科

高原賢守 大場彦明 菅 健敬 中條 悟

21. 追加治療としてインフリキシマブあるいは血漿交換を受けた患者群の
背景分析と冠動脈瘤形成頻度 ー第 21 回川崎病全国調査資料からー

関西医科大学 小児科

荻野廣太郎

自治医科大学 公衆衛生

中村好一

【特別講演Ⅱ】 18：05～19：05

座長 荻野 廣太郎（関西医科大学 小児科）

「川崎病血管炎の病理

ーカンジダ誘導血管炎モデルからわかることー」

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科 高橋 啓 先生

大原関 利章 先生

閉会の挨拶 19：05～19：15

第 36 回会長 寺口 正之（中野こども病院）

第 37 回会長 津田 悦子（国立循環器病研究センター 小児科）

帝人ファーマ株式会社

1. 名称
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
 - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。
 - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
 - 3) 本事業は、帝人ファーマ株式会社との共催とする。
4. 運営委員会
 - 1) 本会に次の役員を置く。

①運営委員長	1名
②運営委員	若干名
③会計	1名
④監事	1名
⑤顧問	
⑥名誉会員	
 - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
 - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任をさまたげない。
 - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
 - 5) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
 - 6) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
 - 7) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
 - 8) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
 - 9) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
 - 10) 名誉会員は運営委員長が運営委員会にはかり、推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
 - 11) 顧問は運営委員長が運営委員会にはかり名誉会員の中から会の運営上必要と認めたとし、運営委員会に出席できる。
5. 会員
 - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
 - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。
6. 学術集会の発表者の制限
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
 - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
 - 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。
継続して学術集会に参加の意思がなく、本会の会員登録を希望しない場合は参加費（1,000円/人）のみの学術集会への参加を認める。
 - 3) 名誉会員および顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。
京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路ル梶井町 465

Kenketsu **Venilon®-I**

Intravenous Immunoglobulin



血漿分画製剤 特定生物由来製品 処方せん医薬品^注

献血 静注用免疫グロブリン製剤

献血ベニロン®-I

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉

生物学的製剤基準 注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

静注用 500mg
静注用 1000mg
静注用 2500mg
静注用 5000mg

販売
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: 帝人ファーマ(株) 学術情報部

製造販売
化血研 製化学及血清療法研究所
東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-8585
TEL: 03-3441-2111 FAX: 03-3441-1345
資料請求先: (財)化学及血清療法研究所営業管理部

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

VEN902 (MI) 0909改7 作成年月2009年9月



粘膜付着型鼻過敏症治療剤

薬価基準収載

処方せん医薬品^注

リノコート® パウダースプレー鼻用 25µg

Rhinocort® Powder Spray 25µg 〈ベクロメタゾンプロピオン酸エステル製剤〉

効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元 **TEIJIN** 帝人ファーマ株式会社

〔資料請求先〕 学術情報部

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1

RCM802 (AU) 1002改1 2010年3月